

災害時の製品事故の防止について（注意喚起） ～ 電気製品の火災事故防止 ～

東北地方太平洋沖地震の影響により、電気、ガス、水道の供給が停止しました。電力復旧時の通電による電気製品の火災事故が予想されます。
これらの事故防止のため、以下の注意事項を守って正しく使用してください。

1. 地震を感じたときの対応について

- ① 使用中の電気製品のスイッチを必ず切ってください。
- ② アイロンやドライヤーなどの熱器具は、火事の原因になりやすいので素早くプラグをコンセントから抜いてください。

2. 家の外へ避難するときの対応について

電気の消し忘れによる事故を防ぐため、ブレーカーを必ず「切」にしてください。

3. 停電復旧時の対応について

電気製品の外観、電源コード、プラグ、テーブルタップ、延長コードに異常があるもの、水に浸かったものや強い衝撃を受けたものを使用するときは、必ずメーカーや販売店の点検・修理を受けてください。

- ① 停電復旧前に分電盤のブレーカーを全て切り、全ての電気製品のプラグをコンセントから抜いてください。
- ② 電気製品の外観に異常がないか確認してください。
- ③ 電源コード、プラグ、テーブルタップ、延長コードに傷や折れがないか、また、コードが家具や荷物に踏まれていないかを確認してください。
- ④ 水に浸かった電気製品は使用しないでください。
- ⑤ 落下や転倒など強い衝撃を受けた電気製品は使用しないでください。
- ⑥ ブレーカーを入れ、必要な電気製品のプラグをコンセントに差し、様子をみながら使用してください。発煙や異臭を感じた場合は、直ちに使用をやめてください。

4. 計画停電時の対応について

- ① ブレーカーを切り、電気製品のプラグをコンセントから抜いてください。
- ② 地震の影響により、電気製品の外観等に異常がないかを確認してください。
- ③ 外観等に異常が認められたときは、必ずメーカーや販売店の点検・修理を受けてください。

本件に関する問い合わせ)
製品安全センター製品安全調査課
鬼頭、葛谷、三好
電話：06-6942-1113